



ら び っ く La・BOOK

10月号

No.28

お陰様で、「みらい」開館5周年

図書館フェスタ&フェスタウィークを開催!

ご来館ありがとうございました

今年は、「みらい」開館5周年を記念し、9月2日から7日まで、フェスタウィークと題してカードケースのプレゼントやブックコートサービスなどを行いました。期間中は、延べ7,139人の方にご来館いただきました。

開館5周年記念式典では、望月正勝教育長が「開館以来、来館者数が1,459,968人(9月1日現在)。多くの皆様にご利用いただき、感謝します。これからも多くの市民の皆様に関わられ、気軽に立ち寄れる施設に」とあいさつしました。また、松本山雅FCオフィシャルマスコット・ガンズくんの中央図書館長就任、図書館川柳の授賞式を行いました。



ガンズくん

毎年、長蛇の列ができる人気の「リサイクルコーナー」(5,000冊)をはじめ、「エコバック」「カードケース」「きらきらしゃぼん玉」を作る講座に、子どもから大人まで多くの方に参加していただきました。

ボランティアのみなさんの「おはなし会」や穂高商業高等学校吹奏楽部の迫力のある「コンサート」、琴を伴奏に朗読する「朗読ライブ」も好評でした。



おはなし会

また、発表者が自分のお勧め本を紹介し、観戦者が読みたくなった本を選ぶ「ビブリアバトル」。今回初めての開催でしたが、参加者からは「普段、手に取らない本も読んでみたくなった」という声が聞かれました。「魔女の宅急便」の著者、角野栄子さんの講演会も行われ「だれでも、魔法の一つを持っている」という話に観客は魅了され、楽しい一時を過ごしました。

中央図書館

奮闘! 調べもの日記(シファレンス)



生誕 100年 高橋節郎について知りたい

穂高町出身。戦後の日本漆芸における新たな展開に最も重要な役割を果たした工芸作家の一人。

1914年(大正3)高橋家の三男として生まれる。松本中学校(現松本深志高校)を卒業後、東京美術学校(現東京藝術大学)工芸科漆工部に入学。大学卒業後は研究科に進み、美術学校の仲間、黒瀬英雄・小杉二郎・金子徳次郎と「型會(かたちかい)」を結成。初めての展覧会を開催。

1940年(昭和15)紀元二六〇〇年奉祝展にて<ひなげしの図小屏風>が初入選。その後も多くの作品を残していく。62~67歳までは、母校の大学で美術学部の教授を務めていたこともある。

1983年(昭和58)には信州美術会会長に就任。穂高町名誉町民に。1990年(平成2)には県知事より長野県芸術文化功労者として表彰される。

また、1998年(平成10)長野五輪の公式メダルのデザインを担当したのも節郎であった。

2007年(平成19)に死去。享年92歳。<双樹の門>(木芯乾漆)が遺作となる。

<関係資料>

- 『漆芸家・高橋節郎のあゆみ』
／安曇野高橋節郎記念美術館 2008
- 『安曇野高橋節郎記念美術館』
／安曇野高橋節郎記念美術館 2003
- 『鎗金と蒔絵 高橋節郎漆芸展』／高島屋美術部 1987
- 『高橋節郎 | 漆 黒と金の物語 沈潜する原風景』
／実業之日本社 1998

私と図書館

利用者(40代男性)

8月号のこの「La・BOOK」に、40代女性が、「紙ベースでの読書と電子書籍での読書、10年後私の読書媒体はどちらになっっているか?」と書かれていますね。私の場合は10年後もやっぱり、紙ベースの本かなあと思います。

図書館にずらりと並んだ本の背表紙を見ていると、読書意欲がかきたてられます。それから、図書館や本屋さんに入った時や、本を開いた時の、あの独特な本の匂いが大好きなのです。あの匂いを嗅ぐと、「ああ、本が読みたい!」と思うのです。古本屋さんで買ってきた本に、前の持ち主が引いた線や書き込みがあるのを見るのも面白いのです。

そのような私は、やはり10年後も紙ベースの書籍として図書館の大ファンなのだろうなあと思います。



9月貸出ランキング

一般書

- 1 銀翼のイカロス／池井戸潤
- 2 虚ろな十字架／東野圭吾
- 3 明日の子供たち／有川 浩
- 〃 荒神／宮部みゆき
- 5 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 〃 遺譜 上／内田康夫
- 〃 永遠の0／百田尚樹
- 〃 捜査組曲／今野 敏
- 〃 春の庭／柴崎友香
- 〃 わけあり師匠事の顛末／佐藤雅美

児童書

- 1 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 〃 バムとケロのそらのたび／島田ゆか
- 3 たまごのあかちゃん／かんざわとしこ
- 4 じゃあじゃあびりびり／まついのりこ
- 〃 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 6 おつきさまこんばんは／林 明子
- 〃 かいけつゾロリのなぞなぞ大さくせん／原ゆたか
- 〃 かいけつゾロリのメカメカ大さくせん／原ゆたか
- 〃 がたんごとんがたんごとん／安西水丸

AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 〃 図書館戦争／佐藤信介監督
- 〃 魔女の宅急便／角野栄子原作
- 4 武士の一分／山田洋次監督

豊科図書館から

本のソムリエ(職員) おすすめ本

一般書

『折り紙夢WORLD』

川崎敏和／朝日出版社

表紙

本書で紹介されているバラの折り紙は『KAWASAKI ROSE』と呼ばれ、本物のように見える作品です。折る工程が多く、時間は掛かりますが、完成すると達成感が得られ、もう1つという気になります。他の作品もリアリティーのあるものが多く一見難しく見えますが、折り図はととても詳しく折り紙の経験が少ない方にも分かりやすく掲載されています。

表紙の汽車を折って、豊科図書館に飾ってありますので、ぜひご覧ください。

児童書

『105にんのすてきなしごと』

カーラ・カスキン／あすなろ書房

表紙

金曜日の夕方。105人の人たちが、それぞれ、お風呂に入り、靴下をはき、服を着て、仕事に出かける用意をしています。

おや、靴下に穴があいてしまっている人がいるようですよ。

ひとりひとりの用意のしかた

が細かく描かれていて楽しめます。芸術の秋にもぴったりの一冊です。

図書館フェスタ ビブリアバトル チャンプ本決定!!

9月6日(土)の図書館フェスタに行われた「ビブリアバトル」で、みごと初のチャンプ本となったのが「帰ってきたヒトラー 上・下」です。発表者の方5名が、5分間で本を紹介し、そのあと3分ほど観戦者がいろいろな質問をするという形式で行われ、白熱したバトル、質問が交わされました。

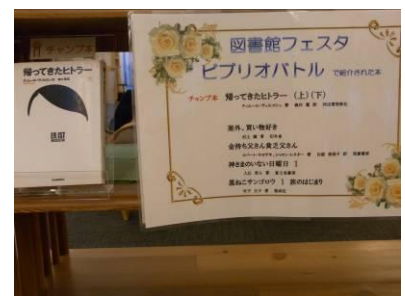
その他紹介された本

『案外、買い物好き』 村上春樹著/幻冬舎

『金持ち父さん貧乏父さん』 パート・ワット、リチャード・ワット著/筑摩書房

『神様のいない日曜日1』 入江君人著/富士見書房

『黒ねこサンゴロウ1 旅のはじまり』 竹下文子著/偕成社



編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-5796
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※
 毎年1回、市内図書館からお願している特別整理による休館に、ご理解をいただきありがとうございます。
 豊科図書館は、9月下旬実施しました。7万6千点を超える資料を点検しましたが、不明は雑誌が1冊だけでした。
 図書館資料を大切に
 する、利用者
 のみなさんに
 感謝します。
 いっしょ
 ありがとう

